

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (1) 女性の人材育成と審議会等への登用の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

23	事業名	審議会等における女性の登用推進のための講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
主として女性に、審議会等への参画についての意識を高め、審議会等における女性の登用を推進する。			審議会等への女性の参画を支援するための講座を、人権・男女共同参画推進課と連携して開催する。	
事業の実施内容				
広く市民に女性の政治参画の重要性を伝え、女性受講者の審議会に対する理解度を深めることを目的とする2回連続講座「身近な暮らしからはじめる“政治参画”」を実施した。①7/31「身近な暮らしからはじめる“政治参画”」、②8/3「審議会を知ろう」。講座終了者のうち、希望者が実際に審議会を傍聴した。③8/12「審議会に行こう」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率			【成果指標】満足度	
【目標】80% 【実績】56%			【目標】80% 【実績】92%	
【達成度】3(達成まで今一步)			【達成度】5(十分に達成できた)	
参加人数計:25人(第1回 20人、第2回 5人/女性19人、男性6人) 募集人数:45人 ※審議会傍聴は募集定員なし。参加人数は3人			「市民が参画して政策を決定、実行することの重要性を再認識することができた」「女性審議会委員から応募動機や実際の審議会活動について聞き、特別なスキルや専門性がなくても、越谷市について知りたい、変えたいという思いだけで参画できることがわかった」などの感想があった。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)			参加者に身近な暮らしと政治が結びついていることを伝えられた。第2回で審議会委員の率直な体験談を聞くことで、審議会委員を身近に感じてもらうことができた。	
<R2年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特に第2回と第3回は、審議会と審議会委員への関心が高くないと参加しにくく、毎年集客に苦労している。			第1回を身近な課題の解決につながるような内容にして、受講者に「自分も何かできそうだ」と感じてもらえるように努めているが、集客についても関連部署と連携を取り推進する。	

24	事業名	審議会等への女性の登用推進	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市の審議会等における女性の登用を推進する。			行政推進会議及び幹事会で全庁的に働きかけを行う。審議会委員の改選時期に合わせて、女性の登用について各課に対して個別に働きかけを行う。	
事業の実施内容				
全庁的な男女共同参画推進体制である行政推進会議(部長級で構成)及び幹事会(課長級で構成)で働きかけを行なったほか、審議会等の改選時期に合わせて所管課所の担当者と事前協議を行い、女性の登用について、配慮を依頼した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】働きかけの回数			【成果指標】女性の登用率	
【目標】— 【実績】35回			【目標】35% 【実績】32.99%	
【達成度】5(十分に達成できた)			【達成度】3(達成まで今一步)	
行政推進会議及び幹事会での部課長への働きかけの回数と、改選を予定している審議会等を対象とした事前協議の回数			令和4年4月1日現在 審議会等・・・行政委員会、法令等審議会、要綱等協議会(H29年4月より追加)3年度から国・県がさらに高い目標値(40~60%)を掲げている中、現在の目標値にも達していないため、評価を「3」とした。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)				
<R2年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
女性の専門家が少ない分野や、あて職の委員が多い審議会等の場合、委員の選任に所管課の裁量が及びにくい状況がある。			選出母体の見直し等、より一層の働きかけを行う。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (1) 女性の人材育成と審議会等への登用の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

25	事業名	男女共同参画チャレンジリスト登録者への情報提供	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民(チャレンジリスト登録者)に、審議会委員の公募に関する情報提供を行い、審議会等における女性の登用を推進する。			審議会への女性の参画を支援するための講座受講者等のうち、希望者にチャレンジリストに登録してもらい、公募委員を募集する各審議会の情報を提供する。	
事業の実施内容				
審議会等の公募委員へ挑戦することを目的としたチャレンジリスト登録者に対して、毎年発行する「審議会ガイドブック」を送付し、公募情報の提供を行った。また、登録者への公募委員募集情報の個別送付を希望する審議会の所管課所に対して、同意をもらった登録者へ情報提供を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】登録者数			【成果指標】登録者のうち年度内に公募委員になった人数	
【目標】82人 【実績】80人 【達成度】4(概ね達成できた)			【目標】13人 【実績】5人 【達成度】3(達成まで今一步)	
内訳:女性62人、男性18人(令和4年4月1日) 新規登録:2人			登録者のうち公募委員の人数(令和4年4月1日) 登録者の中には、公募以外で選出されて審議会等の委員になっている人たちが延べ10人いるため、評価を「3」とした。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)			従来、ほとと越谷主催の審議会等における女性の登用推進のための講座の受講者のうち希望する方を登録していたが、今年度からはホームページに掲載し、随時申込み可としたところ、2名の登録があった。	
<R2年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
登録者の半数以上が70歳以上と高齢化しており、委員へ挑戦する人の減少や、登録抹消などのケースに繋がっていると思われる。			比較的若い層へのアピールや、安心して挑戦できるような情報発信に努める。	

26	事業名	女性職員の人材育成・登用促進	所管課所	人事課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
政策決定過程における男女共同参画を推進するため、行政内部においても、女性人材の能力開発、登用を促進する。			女性職員を対象としたエンパワーメント研修等を実施する。	
事業の実施内容				
女性の能力開発・発揮を目的とした「女性職員エンパワーメント研修(女性職員の意識向上、スキルアップ等)」を実施した。(1/25実施)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】女性の能力開発のための研修の受講者数			【成果指標】職員のうち管理職に占める女性職員の割合	
【目標】25人 【実績】27人 【達成度】5(十分に達成できた)			【目標】21% 【実績】22% 【達成度】5(十分に達成できた)	
例年、女性の能力開発・発揮を目的とした研修の受講者の目標値を設け、女性人材の能力開発に努めている。			研修等による継続的なアプローチにより、女性職員の男女共同参画に対する意識向上が図られ、管理職に占める女性職員の割合が増加した。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			今年度実施したエンパワーメント研修においては、女性管理職と一般職員との間でディスカッションの場を設けるなど研修内容の充実に努め、女性職員の意識向上を図った。	
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (1) 女性の人材育成と審議会等への登用の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

27	事業名	女性消防吏員の活躍支援事業	所管課所	消防総務課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の視点に立って市民へ消防の魅力を広く発信するとともに、男性・女性問わず活躍できる職場づくりを推進し、女性消防吏員のさらなる活躍を通じ、住民サービスの向上や組織の活性化を図る。			女性消防吏員の執務環境の改善や女性が消防職務を継続していくため、柔軟な職域拡大の推進、研修機会の拡大などに取り組み、支援する。	
事業の実施内容				
消防大学校・埼玉県消防学校における実務講習や特別教育研修への女性消防吏員の参加、女性消防吏員講習会等や総務省消防庁主催のセミナー等へ積極的に参加し、職域拡大の推進や女性消防吏員の確保に努めた。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 活動実施回数			【成果指標】 消防吏員に占める女性の割合	
【目標】 6回 【実績】 7回			【目標】 5% 【実績】 4.9%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【埼玉県消防学校】第144期救急科1人、第16回警防活動教育1人、安全管理研修1人、女性消防吏員活躍推進講習会4人【越谷市】市町村合同説明会1人【総務省消防庁】女性消防吏員活躍推進に係るWebセミナー1人【消防大学校】女性活躍推進コース第6回1人			消防局ホームページ内の女性消防吏員活躍ページ作成、市町村合同説明会への女性消防吏員の参加、総務省消防庁が主催するWebセミナー等への女性消防吏員のバナー出演を積極的に行った。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			消防吏員に占める女性の割合は目標間近だが、今後も女性消防吏員の講習会や研修等へ積極的に参加し、さらなる目標数値を設定し、女性消防吏員の確保に努めていく。	
<R2年度評価> R3新規				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
女性消防吏員が増加する中で職域拡大を推進させるとともに、消防吏員に占める女性の割合の目標数値を見直す必要がある。			目標数値を見直し、女性消防吏員の割合を増加させ、職域拡大、住民サービスの向上や組織の活性化を図っていく。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (2) 女性の就業・起業のための支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

28	事業名	女性のための就職支援セミナー	所管課所	経済振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の就職へ向けた能力向上等を支援し、さらなる活躍の推進と働き手の確保を図る。			就職活動に必要な適性診断や採用面接での自己PRをテーマとしたセミナー(講座)を開催する。	
事業の実施内容				
【女性のための就職支援セミナー(市主催)】①4/7(参加者9人)、②6/9(中止)、③8/11(中止)、④10/6(参加者10人)、⑤12/8(参加者7人)、⑥2/9(参加者9人)【女性のためのビジネスマナー講座(市主催)】①5/12(中止)、②7/7(参加者14人)、③9/8(中止)、④11/10(参加者10人)、⑤1/12(参加者8人)、⑥3/9(参加者6人)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率			【成果指標】満足度	
【目標】70% 【実績】85% 【達成度】5(十分に達成できた)			【目標】90% 【実績】99% 【達成度】5(十分に達成できた)	
参加人数:73人 募集人数:85人(10人×7回)(15人×1回)			「よかった」:72人 「よくなかった」:1人	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		新型コロナウイルス感染症の影響により、全12回中4回を開催中止とした。開催にあたっては、新型コロナウイルスの感染者の減少が見られた時期(7~9月)の申込人数を15人にする等、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、参加者増加に努めた。参加率・満足度はともに高い成果を得られた。		
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
新型コロナウイルス感染症の感染者の減少予想が難しく、定員を増やした後に感染が拡大し、セミナーが中止になるといった事案があった。			セミナー中止の場合には、若年者等就職支援事業で実施している個別相談を案内していく。また、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、定員数の増加も検討する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (2) 女性の就業・起業のための支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

29	事業名	女性の就業支援事業	所管課所	経済振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の就職支援の一環として専門のキャリアコンサルタントを配置、就職に向けたきめ細かな総合的カウンセリングを実施し、早期就職の促進を図る。			委託事業としてキャリアコンサルタントを配置し、個別にカウンセリングを実施する。	
事業の実施内容				
専用のキャリアコンサルタントによる早期就職に向けた総合的なカウンセリングを実施(月曜～金曜、午前9時～午後5時、受付は午後4時30分まで)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 相談件数(延べ)			【成果指標】 相談終了者の就職率	
【目標】 90件			【目標】 40%	
【実績】 136件			【実績】 37%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
			女性相談終了者46人、内訳(就職17人、未就職29人) 未就職には相談者からの就職報告がないケースを含む。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			職業能力開発支援事業で実施する就職支援セミナーにおいて、本事業の周知を定期的に行っている。また、ハローワーク越谷の窓口において本事業の案内を行っていただくよう、ハローワーク越谷と連携している。	
<R2年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
就職率の向上に引き続き取り組む必要がある。			相談者へのフォローアップを強化する。	

30	事業名	女性起業家の育成支援	所管課所	経済振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の創業を促進し、新たな産業や雇用の創出及び市内産業の振興を図る。			女性の創業希望者や創業間もない方を対象に創業相談及び創業支援セミナーを実施する。また、創業に係る費用の補助を行う。	
事業の実施内容				
①二番館(相談窓口)の専門家による創業相談(女性相談55件)、②女性創業支援セミナー(9月8、22日:23人)、③創業者支援補助金に係る女性・若者の優遇(女性補助対象者4人)、④その他の創業に係るセミナー(女性参加者29人)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 女性の創業相談件数			【成果指標】 創業を支援した女性の人数	
【目標】 40件			【目標】 10人	
【実績】 55件			【実績】 13人	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
上記各事業(①②③④)の連携をより意識し、周知・宣伝の強化に努めた結果、目標を達成することができた。			創業支援セミナー参加者7人、補助金申請者(二番館相談者)6人の女性が創業した。全創業者30人のうち、女性の割合は4割程度であった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			補助金申請者、セミナー参加者ともに増加しており、活動実績・成果指標の目標を達成することができた。	
<R2年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
セミナー受講後・補助金申請後のフォローアップが不足しているため、支援途中で創業を断念してしまうケースもみられる。フォローアップ体制については、引き続き検討していく必要がある。			窓口相談、セミナー、補助金申請対応すべての段階において、創業希望者の実態把握に努めていきたい。各事業での関連性を持ちながら、各事業関係機関との連携を強化し、ワンストップの支援を行う。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (2) 女性の就業・起業のための支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

31	事業名	女性の起業支援に関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性が主体的に能力を発揮できる力(エンパワーメント)をつけるための学習機会を提供し、起業を視野に入れた女性の能力向上を図る。			女性が企業で働くだけでなく、起業する、NPOを立ち上げるなど、多様な働き方の選択ができるようなワークショップを中心とした講座を開催する。	
事業の実施内容				
経済振興課、越谷商工会議所との共催で、女性の起業を支援する4回連続講座「私の好きなことで仕事を創る」を実施した。①10/6「お客さまは誰か考えよう」「市はどんな支援をしてくれる?」②10/20「あなたならではの仕事を創る」③10/27「お客様が見つかるSNS活用術」「先輩創業者に聞いてみよう」④11/10「マネープランを学ぼう」「プレゼンテーション大会」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率 【目標】80% 【実績】100%			【成果指標】満足度 【目標】80% 【実績】97%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
参加人数:第1回 21人 第2回 25人 第3回 24人 第4回 20人 募集人数:80人(20人×4回) ※女性対象講座			「自分1人ではなかなかできないワークが盛りだくさんで、自分の思ってもみなかった自分の内面に気づくことができた」「始める時のマインド、覚悟など気持ちを後押しされてとてもよかった」などの感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる) <R2年度評価> A			連続講座では、自分の棚卸し、統計の活用や事業資金計画の考え方、実際に起業した女性の経験談など、起業に必要な基本的なことを伝えている。また、講座を通じて、普段の生活では出会えない相手と知り合い、話すことが、起業に向けたきっかけとなる。最終日のプレゼンテーションでは、自分自身の考え方を整理し伝える力を得ることで、起業に向けての自信につなげることができた。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

32	事業名	家族経営協定の推進	所管課所	農業振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内で農業を営む世帯における女性従事者の労働環境を維持する。			農業を営む家族間の話し合いのもとで共同経営環境の取り決めをする「家族経営協定」の普及拡大のため、農家への戸別訪問による啓発パンフレットの配布や制度説明、農業団体へのPRなどを行う。	
事業の実施内容				
パンフレット配布や制度説明、農業団体へのPRを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】農業団体へのPR活動 【目標】1回 【実績】未実施			【成果指標】協定の締結件数 【目標】32件 【実績】32件	
【達成度】 1(未実施)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、農業団体の会議等を行えず、PRの場を設けることができなかった。			今年度の新規締結件数は0件	
事業の評価				
一(評価困難) <R2年度評価> -			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、農業団体の会議等を行えず、制度説明やPRができていないため、「評価困難」とした。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
家族経営協定の締結に向け、制度説明やPRを推進しているところであるが、積極的に取り組む農業者が少ない。			制度の概要に加え、労働環境の向上を目的とした家族経営協定の意義やメリットについて、農業者に対し周知・PRする。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (2) 女性の就業・起業のための支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

33	事業名	女性の農業従事者支援	所管課所	農業振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内の農業に携わる女性組織の活動を支援し、農業における女性の地位向上や経営参画推進を図る。			JA越谷市女性部が実施する、農業経営に関する講座及び先進事例の研究、地域交流活動など支援するための補助金を交付する。	
事業の実施内容				
各地区での講習会やイベントでの加工品販売、視察研修等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施地区の割合			【成果指標】	
【目標】 100% 【実績】 未実施			【目標】 【実績】	
【達成度】 1(未実施)			【達成度】 1(未実施)	
全8地区とも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、JA越谷市女性部の活動が行えなかった。			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント・事業等を実施できなかった。	
事業の評価				
一(評価困難)			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、JA越谷市女性部の活動が行えず、各イベント・事業等を実施できなかったため、「評価困難」とした。	
<R2年度評価> -				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
女性農業起業家としての自立や経営の安定化が十分図れていない。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大等の影響で各イベント・事業等が行えなかったため、今後各イベントでの参加方法や実施方法について検討が必要である。			女性農業者間の交流・情報交換等の推進を図りつつ、女性農業者の女性ならではの発想やネットワークを活かした活動を促進し、起業家としての自立や経営の安定化を図っていく。各イベントでの参加や実施方法については検討する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (3) ハラスメント対策の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

34	事業名	就労に関する法制度や職場におけるハラスメントに関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民に就労に関する法制度や職場におけるハラスメントについて普及・啓発を図る。			配偶者控除、育児・介護休業法、パートタイム・有期雇用労働法など、就労に関する法制度、職場におけるハラスメントについて講座を開催する。	
事業の実施内容				
埼玉労働局と共催で、10/7「これだけは知っておきたい！パートタイム・有期雇用労働法とハラスメント」を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率			【成果指標】理解度	
【目標】80% 【実績】75%			【目標】80% 【実績】87%	
【達成度】4(概ね達成できた)			【達成度】5(十分に達成できた)	
参加人数:15人(女性13人、男性2人) 募集人数:20人			「相談窓口がどこにあるのか、知ることができた。どんな時に、どこに相談するのかわかってよかった」「パワハラについて詳しく説明を受けたことがなかったのがためになった」「労働法について再確認ができ、大変参考になった」などの感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			働くうえで必要な労働法と職場におけるハラスメントの基礎知識について理解を深めることができた。グループでの話し合いで疑問を解消できたことが理解向上につながった。	
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (3) ハラスメント対策の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

35	事業名	ワーク・ライフ・バランスやハラスメント防止の普及・啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内の事業者へ、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)やハラスメント防止について普及・啓発を図る。			ワーク・ライフ・バランスに関係する取り組みを行っている市内の事業者インタビューし、その効果などをまとめるとともに、ハラスメント防止を含めたリーフレットを市内事業者に配付する。	
事業の実施内容				
ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組んでいる市内業者(吉野電化工業株式会社)へのインタビューと職場におけるハラスメント防止対策の法制化についての記事を掲載したリーフレットを作成し、市内企業経営者を中心に配付した。(配付部数:5,300部)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】リーフレットの配付回数			【成果指標】	
【目標】1回 【実績】1回			【目標】 【実績】	
【達成度】5(十分に達成できた)			【達成度】4(概ね達成できた)	
越谷市商工会議所に依頼し登録をしている市内企業(5,300社)にリーフレットを配付し、企業経営者に周知を図った。そのほか、経済振興課窓口及び「ほっと越谷」にも配架した。			商工会議所を通して市内事業所にリーフレットを配付することで、職場におけるハラスメント防止やワーク・ライフ・バランスの啓発を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

36	事業名	職員に対するハラスメント対策の充実	所管課所	安全衛生管理課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
ハラスメントのない、男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、職員に対する意識啓発を図る。			ハラスメントに関する研修等を実施する。	
事業の実施内容				
新採用職員研修、中級研修(入庁6年目)、上級研修(入庁12年目)、監督職員(主査・主幹級)及び特別研修において、ハラスメントに関する研修を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】ハラスメントに関する研修受講者数			【成果指標】理解度	
【目標】— 【実績】397人			【目標】100% 【実績】100%	
【達成度】5(十分に達成できた)			【達成度】5(十分に達成できた)	
内訳:新採用(女性102人、男性65人)、中級(女性32人、男性38人)上級(女性24人、男性22人)、主査級(女性29人、男性25人)、主幹級(女性23人、男性24人)、特別(女性2人、男性11人)			アンケート結果では、「理解できた、ほぼ理解できた」と回答した人が100%であり、理解が深まった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 取り組みの方向 (1) 職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

37	事業名	事業者を対象とした男女共同参画に関する事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
事業者にも男女共同参画意識の普及・啓発を図り、職場における男女共同参画を推進する。			事業者を対象として、ワーク・ライフ・バランスなどに関する講座、パネル展示等を実施する。	
事業の実施内容				
事業者を対象に、社員の満足度と会社の成長につながる制度づくりに挑んだ地元企業の経営者から「働き方改革」の取り組み事例を聞き、誰もが安心して働き続けることのできる職場づくりのヒントを学ぶ講座を実施した。2/3「できることから始める～丸越運輸倉庫株式会社の事例から～」				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 実施事業数		【成果指標】		
【目標】 1回		【目標】		
【実績】 1回		【実績】		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
参加人数:19人(女性9人、男性10人) 募集人数:30人		地元企業が実践した「働き方改革」の試行錯誤の事例紹介を通じて、育児・介護等さまざまな事情を抱えた従業員の一人ひとりが、長く安心して働き続けることができる職場づくりに役立つ情報を提供し、事業者に対する男女共同参画を推進することができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

38	事業名	男性職員の育児休業取得のための啓発	所管課所	人事課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
子育て中の男性職員が子育てに関する休暇等を積極的に取得できるよう、制度内容の周知・啓発を図る。			仕事と家庭の両立支援に関する研修の実施やハンドブックの配付等により、職員への周知を図る。	
事業の実施内容				
新採用、採用後6年目及び新任管理職を対象に、男性の育児休業をはじめとした仕事と家庭の両立支援に関する研修を実施した。(新採用職員研修は4/2、事務改善研修は10/19・10/21、新任副課長職研修は10/27に実施)				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 仕事と家庭の両立支援に関する研修の受講者数		【成果指標】 理解度		
【目標】 ー		【目標】 100%		
【実績】 262人		【実績】 80%		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
①新採用職員研修(4/1付採用):男性65人、女性102人 ②事務改善研修:男性36人、女性26人 ③新任副課長職研修:男性24人、女性9人		新採用職員に対しては、育児・介護両立支援ハンドブックの配付及び説明を行い、制度内容を周知した。その他の職員に対しては、仕事と家庭の両立支援に関する研修を実施した。研修後の受講者アンケートでは「今後の業務の参考になる」との回答が多数を占めた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> R3新規				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 取り組みの方向 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

39	事業名	男性の男女共同参画推進のための事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男性に家庭生活等への参画を促す意識を啓発する。			さまざまな世代に対応したテーマを設定して講座等を開催する。	
事業の実施内容				
「男性の役割」といった男性自身を縛るジェンダーに関する思い込みや無意識の偏見にとらわれることなく、「自分らしく」生きることについて考えることで、家庭分野や地域活動などへの参画を促す意識啓発のための講座を開催した。5/23「あなたらしく生きるために～男性相談者との関わりから～」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回 【実績】 1回			【目標】 【実績】	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
参加人数:10人(男性10人) 募集人数:20人			性別による固定的な役割分担意識に気づき、「自分らしさ」について考えるための情報提供や、参加者同士が「男性の生きづらさ」について意見交換を行う場や「自分らしく」生きることについて見つめ直す機会の提供により、男性の家庭生活への参画を促すことができた。	
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> -				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

40	事業名	育児・介護等と仕事の両立支援のための事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
仕事と育児・介護等の両立を支援する。			働きながら子育てや介護等を両立することに関する講座等を実施する。	
事業の実施内容				
「埼玉県ケアラー支援条例」成立などの介護者を支えるための社会の動きや、介護保険制度や介護者を支援する地域資源についての情報提供により、介護者自身が自分の仕事や生活と介護の両立について考えることの大切さを伝える内容とした。6/5「仕事も介護もあなたも大事！～介護する人を支えるために～」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回 【実績】 1回			【目標】 【実績】	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
参加人数:19人(女性14人、男性5人) 募集人数:15人			介護者を支えるための社会の動きや、介護保険制度や介護者を支援する地域資源についての情報提供により、介護者自身が自分の仕事や生活と介護の両立について考えることの大切さを伝えるなど、仕事と育児・介護等の両立を支援できた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> -				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 取り組みの方向 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

41	事業名	育児期の女性の就労継続を支援する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
育児期の女性が就業継続し、スキルアップにつながる支援をする。			妊娠・出産・育児期の女性が仕事を継続するために、具体的に役立つ知識やスキルを習得できる講座を開催する。	
事業の実施内容				
育児休業中の女性が職場復帰の不安を解消し、これからの働き方を考える3回連続講座「自分らしい働き方をかなえる職場復帰準備講座」を開催した。①9/5「これからの働き方を考えるために自分軸をつくる」、②9/12「どう乗り越えた？先輩ママの復職ストーリー」、③9/16「どう考える？私らしい職場復帰」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率 【目標】80% 【実績】63%			【成果指標】満足度 【目標】80% 【実績】93%	
【達成度】3(達成まで今一步)			【達成度】5(十分に達成できた)	
参加人数:15人(第1回6人 第2回5人 第3回4人) 募集人数:24人(女性8人×3回) ※女性対象講座			「職場復帰したら、会社に育児・介護の両立支援についての考えを確認したくなった。“今”で精一杯な時間が多いが、少し長い目で見てみるとという学びが楽しかった」「それぞれの家庭の状況の中で工夫して、少しでも楽になるような努力をされているお話が聞けてよかった」などの感想があった。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要) ----- <R2年度評価> B			2年ぶりにパートナー同伴可とし、3人が参加した。「夫婦の価値観の違いのすり合わせは当人同士では難しく、講座で伝えられると相手のことを認めようと思える」という感想から、男性パートナーに対し、家庭から離れて客観的に話を聞く機会を提供することの大切さを再認識できた。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
以前は年2回実施し、参加率100%を越えた講座だが、ここ数年は集客が難しくなっている。			新型コロナウイルス感染症流行下での受講控えや復職控えなども想定される。感染状況や社会情勢の変化も見極めつつ、講座内容の見直しについても検討する。	

42	事業名	障がい者介護支援	所管課所	障害福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。			在宅の心身障害者の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。	
事業の実施内容				
一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う「生活サポート事業」を実施し、サービス提供団体に補助金を交付した。また、サービスを受けた時間数に応じた自己負担金について、障がい者の所得に応じた階層区分により補助額を決定し、負担を軽減した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】利用登録者数(障がい者) 【目標】358人 【実績】343人			【成果指標】利用時間数(延べ) 【目標】— 【実績】5,264時間	
【達成度】4(概ね達成できた)			【達成度】5(十分に達成できた)	
当該事業の目的は、緊急一時等の一時的な利用であるため、実際の利用者数と登録者数では差異が生じる。しかし、登録者数の増加は、市民への当該事業の周知が進んでいると考えられ、概ね目標は達成できたと考えられる。			事業の内容から、目標値の設定は難しいが、令和3年度は引き続き新型コロナウイルスの影響がありながらも、昨年度の利用時間数(4,406時間)を超えていることから、取り組みの成果としては十分に達成できたと考えられる。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる) ----- <R2年度評価> A			新型コロナウイルスの影響がありながらも延べ利用時間数は増加している。今後も、障がい者数の増加に伴い需要の拡大が見込まれる。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
昨年同様、登録事業者数25に対し、市内の事業者は8箇所にとどまっているため、利用登録者が緊急時に利用できないことがある。			市内及び近隣の事業所から団体登録の希望があれば登録を進めていく。また、利用登録者が緊急時に利用できない場合は、利用者の状況を確認しながら、他のサービスの利用を検討する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 取り組みの方向 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

43	事業名	障がい児介護支援	所管課所	子ども福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。			在宅の心身障害児の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。	
事業の実施内容				
一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う「生活サポート事業」を実施し、サービス提供団体に補助金を交付した。また、サービスを受けた時間数に応じた自己負担金について、障がい児の保護者の所得に応じた階層区分により補助額を決定し、介護者の負担を軽減した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用登録者数(障がい児)			【成果指標】 利用時間数(延べ)	
【目標】 260人 【実績】 144人 【達成度】 5(十分に達成できた)			【目標】 ー 【実績】 7,548時間 【達成度】 5(十分に達成できた)	
令和3年度は、前年度までの登録者に更新の意向を確認した上で登録を行ったため、登録者数が前年度(281人)と比べ大幅に減少した。しかし、実態に即した登録者数になり、サービスを必要とする在宅の心身障がい児の地域生活を支援することができているため、評価を「5」とした。			利用登録者数は減少したものの、前年度の利用時間数(6,542時間)を超えていることから、十分に達成できたと考えられる。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

44	事業名	高齢者介護支援	所管課所	地域包括ケア課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。			見守りや部分的介助が必要な高齢者(介護保険認定対象外)の介護者が、休養や旅行等で一時的に介護を離れる間、高齢者が特別養護老人ホーム等で短期宿泊する際のサービス費を受け入れ施設に支給する。	
事業の実施内容				
市内に住所を有する65歳以上の介護保険認定対象外の高齢者で、見守りや部分的介護が必要な方が、一時的に介護者が病気や事故等で介護が困難になったとき、特別養護老人ホーム等で、空きベッドを利用して一時的に生活管理の支援を行う。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 申請件数			【成果指標】 利用日数(延べ)	
【目標】 5件 【実績】 3件 【達成度】 4(概ね達成できた)			【目標】 ー 【実績】 36日 【達成度】 5(十分に達成できた)	
新型コロナウイルスによる利用控えにより、目標値を当初の目標値(10件)の50%減に設定。本事業については一時的な利用や利用するための様々な理由があり、毎年の利用実績は、大きく増減すること、必ずしも申請数が多いことが望ましいわけではないことから、評価は「4」とした。			事業利用を必要とする人がいた場合、要件が当てはまれば早急に利用できる体制を整えている。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> R3新規				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
利用者の相談を受けた場合、速やかな対応を行える体制を維持する。			地域包括支援センターとの連携を図り、利用者の家族支援を促す。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 取り組みの方向 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

45	事業名	父親サロンの開催	所管課所	子ども施策推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
父親に、育児の参画を促進するための支援を行う。			未就学の子どもを持つ父親同士の交流の場として父親サロンを開催する。	
事業の実施内容				
未就学の子どもを持つ父親を対象に父親サロンを開催し、相談や情報提供を行ったほか、父親同士の交流を促進し、父親の育児参加を支援した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加人数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 125人 【実績】 122人			【目標】 【実績】	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講座の利用人数を半分にしたり、全体で2か月程度の臨時休業があったため、目標値を当初より半減かつ2か月程度の人数想定を除いた数値に算定しなおした。変更後の目標値には及ばなかったものの、昨年度より参加人数は増えた。			父親が気軽に参加しやすい講座や父親参加型のイベントを開催することで、サロンを利用したことがない父親でもサロンを利用しやすくなり、父親の育児参加に寄与できた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、臨時休業や利用控え等の影響は受けたものの、開催できた分については、感染対策を行いながら、父親同士の交流促進を図り、父親が気軽に相談できる場として積極的に活用していただいた。	
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

46	事業名	送迎保育の実施	所管課所	子ども施策推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
保育園の開所時間内に保育園へ児童を送迎できない保護者に代わり、保育ステーションにおいて送迎及びそれに伴う保育を行うことにより、仕事と育児の両立を支援する。			指定私立保育園への児童の送迎及びそれに伴う保育を行う。	
事業の実施内容				
保護者が仕事と子育ての両立を支援するため、利便性の高い駅前2か所(南越谷・北越谷)の保育ステーションで送迎保育を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 年間利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 年間利用児童数(延べ)	
【目標】 11,720人 【実績】 11,600人			【目標】 ー 【実績】 955人	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
利用定員×保育ステーション数×送迎保育可能数(平日+土曜日) 新型コロナウイルス感染症で臨時休園などがあり、目標値に達しなかった。			利用者のニーズがあれば、対応できる状況を整えており、前回実績の680人を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症で臨時休園などの影響があった。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
ニーズのある人へ届く周知が必要である。			子育て世帯に対し更なる事業の周知を図る。また、送迎保育がより利用しやすいサービスとなるよう、検討していく。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 取り組みの方向 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

47	事業名	一時預かりの実施	所管課所	子ども施策推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動(就職活動、通院、リフレッシュ等)との両立を支援する。			保育ステーション及び地域子育て支援センターにおいて、一時預かりを実施する。	
事業の実施内容				
地域子育て支援センター8か所と保育ステーション3か所において、保護者の急用時や子育てのリフレッシュを図りたい時などに、保護者に代わって児童を一時的に保育する一時預かり事業を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 年間利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 年間利用児童数(延べ)	
【目標】 36,400人 【実績】 36,220人			【目標】 ー 【実績】 5,975人	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
各事業所の定員×令和3年度の各開所日数の合計 目標値:保育ステーション(17,950人)+地域子育て支援センター(18,450人)			新型コロナウイルス感染症対策に気をつけながら、ニーズに応えられるよう対策をして受入れ体制を整えていたが、コロナ前と比べると利用者は少なく、利用控えがあると思われる。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)			保護者に広く認知され、保護者の育児と他の活動の両立に寄与していると考えられる。	
<R2年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
新型コロナウイルス感染拡大の中での安全性を確保しながらの事業の継続。			従事者のマスクの着用、手指消毒、室内の換気など、感染症対策を徹底しながら預かり保育を実施する。	

48	事業名	保育所運営(市立)	所管課所	保育施設課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市立保育所18か所において良質かつ適切な保育サービスの提供に努めるとともに、障がい児保育・延長保育等多様な保育ニーズに応えられるよう、適正な保育所運営の確保に努めることで、市民の育児と他の活動の両立を支援する。			適正な保育所の運営を通じて、良質で適切な保育サービスを提供する。	
事業の実施内容				
市立保育所18か所において、0歳児から5歳児までの保育サービスの提供、保育と就労等の両立の支援、特別支援保育、延長保育等を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 保育所(市立)の定員			【成果指標】 保育所(市立)入所児童数	
【目標】 2,050人 【実績】 2,050人			【目標】 ー 【実績】 1,985人	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
計画通り、令和3年度に大相模保育所において、定員(30人)の拡大を図った。			保育を必要とする多くの児童に対し、保育サービス提供することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適正な保育所運営を継続していく。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 取り組みの方向 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

49	事業名	延長保育の実施	所管課所	保育入所課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と就労等との両立を支援する。			就労形態の多様化や通勤時間に即した保護者のニーズに適切に対応するため、延長保育を実施する。	
事業の実施内容				
就労形態の多様化や通勤時間に即した保育ニーズに対応するため市内の認可保育所117か所(公立18か所、私立25か所、認定こども園9か所、地域型保育事業所65か所)において保育認定時間を越える延長保育を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 利用児童数(延べ)	
【目標】 7,395人 【実績】 6,116人			【目標】 ー 【実績】 60,213人	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
新型コロナウイルス感染症の影響も続いていたものの、私立保育園1箇所、地域型保育施設8箇所の開所により、延長保育を利用できる人数は増加した。			昨年度実績(53,259人)に比べ利用人数の増加となった。新型コロナウイルス蔓延以前の実績までは及ばないものの、増加の傾向にあり、育児と就労の両立の支援を行っている。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			多様化する保護者のニーズに適応できるよう各保育施設にて順調に取り組んでいる。	
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

50	事業名	病児等保育の実施	所管課所	子ども施策推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			病気で患中又は回復期にある生後3ヶ月から小学校3年生までの乳幼児・児童を一時的に保育する。	
事業の実施内容				
社会福祉法人及び株式会社に委託している市内2か所の専用保育室で定員(5人または6人)に対し各施設看護師1人、保育士2人を配置し運営した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 利用児童数(延べ)	
【目標】 610人 【実績】 610人			【目標】 ー 【実績】 374人	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
令和3年度から市内2か所目となる病児保育室を開設し、より多くの子育て世帯にとって利用しやすい事業となった。			新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、例年に比べ利用人数は減少したものの、働く保護者に病気の児童の安心な預け先を提供でき、市民の育児と他の活動との両立を支援できた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			前年度に引き続き、病児保育室として、児童が病気であっても安心な預け先として、働く保護者に認識されている。	
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 取り組みの方向 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

51	事業名	保育所(園)入所(園)事業(私立等)	所管課所	保育入所課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			多様化する保育需要に対応するため、市内の民間保育施設(私立保育園、認定こども園、施設型給付を受ける幼稚園、地域型保育事業所)及び市外の保育施設の保育の実施を委託する。	
事業の実施内容				
市内の民間保育施設97か所(私立保育園22か所、認定こども園9か所、施設型給付を受ける幼稚園1か所、地域型保育事業所65か所)及び市外の保育施設に、市内児童の保育を委託した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 市内保育施設(私立等)の定員			【成果指標】 市内保育施設(私立等)、市外委託保育の利用人数(延べ)	
【目標】 5,345人 【実績】 5,226人			【目標】 ー 【実績】 60,554人	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
令和3年度は私立保育園1か所が閉園し、定員の減少があった。その一方で市内の民間保育施設の新設(私立保育園1か所、認定こども園1か所、地域型保育事業所8か所)、定員の増員を行うなど、様々な取組を実施した結果、待機児童を減らすことができた。(令和2年度19人→令和3年度1人)			民間保育施設の新設、定員の増員や保護者への丁寧な情報提供を行い、昨年度より多くの児童の保育を実施できた。また、保護者の利便性等の向上となる市外での保育の希望を汲み取り、市外へ依頼することで市民の育児と就労等の活動の両立を支援することができた。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)			民間保育施設の新設や定員の増員に加え、保育施設の年齢別空き状況等を積極的に情報提供した。また、市外の保育施設を希望する児童に関する相談や委託先市町村との協議を行うことで、昨年度よりも待機児童を減らすことができた。	
<R2年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
入園を希望する保護者に対し、可能な限り多くの選択肢を提供していく必要がある。			窓口の申込受付では、今後も保護者からの希望を踏まえ、適切な情報提供を行っていく。	

52	事業名	学童保育室運営	所管課所	青少年課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、指導員による学童保育を運営する。	
事業の実施内容				
市内50か所の学童保育室において、保護者が就労等により保育のできない児童に対して、放課後の遊びや生活の場を提供した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 公立学童保育室入室児童定員			【成果指標】 公立学童保育室の利用人数(延べ)	
【目標】 3,125人 【実績】 3,065人			【目標】 ー 【実績】 33,747人	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
大相模学童保育室、川柳学童保育室において定員の拡大を図った。今後も受入児童の拡充及び保育環境の充実のため、施設整備事業を推進する。			入室を希望する児童が一人でも多く利用できるよう、途中退室や入室事態により生じた定員の空きに対して入室選考を毎月実施し、受入児童の増加に努めた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 取り組みの方向 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

53	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	所管課所	児童館コスモス
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
父親に、育児の参画を促進するための意識の啓発を図る。			父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)	
事業の実施内容				
親子で楽しめるミニ運動会遊びを開催。ただし、ひとり親家庭等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止等で、5回開催予定中2回開催。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率			【成果指標】満足度	
【目標】80% 【達成度】5(十分に達成できた)			【目標】80% 【達成度】5(十分に達成できた)	
【実績】80%			【実績】100%	
募集:各回10組(5回開催予定) 参加:20組(①中止 ②7組 ③9組 ④中止 ⑤中止) (内訳:父親15人、母・祖父母等10人、子ども18人) *実績値は中止回を除く			事業後のアンケート結果によると、「とても楽しかった(非常に満足)」と「楽しかった(満足)」の割合が100%だった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
新規参加者を増やせるように努める必要がある。			Cityメールや電子申請を活用し、PRIに務めていく。	

54	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	所管課所	児童館ヒマワリ
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
父親に、育児の参画を促進するための意識啓発を図る。			父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)	
事業の実施内容				
親子で楽しめる運動や遊び等を中心に開催。ただし、ひとり親家庭等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止等で、9回開催予定中6回開催。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率			【成果指標】満足度	
【目標】80% 【達成度】5(十分に達成できた)			【目標】80% 【達成度】5(十分に達成できた)	
【実績】86%			【実績】90%	
募集:各回12組(9回開催予定) 参加:62組(①12組 ②中止 ③中止 ④12組 ⑤8組 ⑥10組 ⑦11組 ⑧9組 ⑨中止)(内訳:父親27人 母・祖父母等34人 子ども67人) *実績値は中止回を除く			事業後のアンケート結果によると、「とても楽しかった(非常に満足)」と「楽しかった(満足)」の割合が約90%だった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
父親が参加しやすい環境づくりに努める必要がある。			Cityメールや電子申請を活用し、PRIに努めていく。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 取り組みの方向 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

55	事業名	両親学級の開催	所管課所	健康づくり推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
妊婦とその配偶者に、育児の参画を促進するための意識啓発を図る。			新生児の保育の講義や沐浴実習など、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を両親で習得するための講座を開催する。	
事業の実施内容				
1日目:妊娠中の栄養講座、2日目:歯科保健講座・助産師による妊婦体操とお産の経過の話、3日目:沐浴実習・新生児保育(両親)・妊婦体験(夫) 歯科や栄養に関する資料に配布(628部)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加人数(延べ)			【成果指標】満足度	
【目標】637人 【実績】628人			【目標】95% 【実績】45%	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、安全確保のため、配偶者の参加は3日目のみとした。また、中止を余儀なくされた回が2回、途中中止が3回あったため目標値を実際に開催できた定員の9割に見直した。			講座の中止・コース途中での中止により、十分な教育ができていないことや不安軽減につながることができていない。例年と同じプログラムを行っており、例年は95%以上の満足度であったことから、コロナに起因することを除けば、満足度は高いと思われるため、評価を「4」とした。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる) ----- <R2年度評価> A			新型コロナウイルスの感染症流行に伴い、グループでの実施をなくしたことで、参加者同士の交流の時間をつくるのが困難であり、仲間づくりに繋がりにくかった。しかし、毎回申し込み開始の30分程度で予約枠が埋まってしまうほどニーズが高く、参加者した方の満足度や不安解消効果も高い。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
①申し込み開始30分程度で予約枠が埋まり、新型コロナウイルスの感染症により、病院や産院での教室実施がないことより、希望がより増えている。 ②電話申し込みを行っているが、働いている方の参加希望も多く、申し込み開始時に電話ができないことがある。			①定員を令和4年度より4名増加する。 ②電子申請へ変更し、申し込み開始時間を12時30分からにする。	

56	事業名	男性の生活自立能力開発のための講座の開催	所管課所	健康づくり推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男性の家事などの生活能力向上を促し、家庭内の固定的性別役割分担の見直しを図る。			男性を対象に、調理技術や栄養知識などを学ぶための講座を開催する。	
事業の実施内容				
料理初心者の方を対象に調理の基礎を中心とした献立についての講話と調理実習(男の料理教室) 年4回の予定のうち、新型コロナウイルス感染症の拡大により、2回は規模を縮小して実施し、2回は中止とした。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率			【成果指標】満足度	
【目標】80% 【実績】63%			【目標】90% 【実績】89%	
【達成度】 3(達成まで今一步)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
参加人数:15人 募集人数:24人(定員12人×2回) 中止回を除いて算出。			アンケート結果集計より、満足63%+ほぼ満足26%=89% 新型コロナウイルス感染症対策により、定員を絞っての開催であったため以前よりも個々の携わる調理が増えたこと、さらに指導者側もより手厚い指導ができたことから満足度が高かったのではないかと考えられる。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要) ----- <R2年度評価> A			コロナウイルス感染症拡大により参加率はやや低かったものの、参加者の満足度は高く事業成果は得られたと考えられる。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
保健センターの移転等もあり新規の参加者も増えたが、継続して参加している参加者と新規の参加者との技術の差が見受けられた。			参加者同士での協力を呼びかけながら、実習が行えるような環境作りを心がけていく。また、内容についても検討しながら料理初心者の方向けとした教室を実施していく。	